

ディビジョン番号	17
ディビジョン名	資源・エネルギー・地球化学・核化学・放射化学

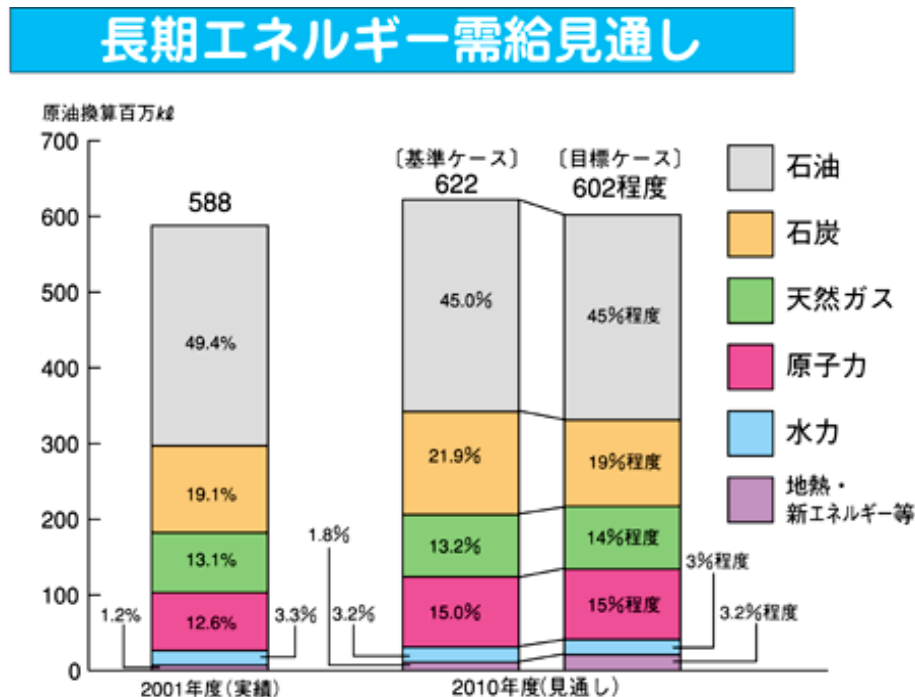
大項目	2. エネルギー
中項目	2-1. エネルギー総論
小項目	2-1-3. 日本の長期エネルギー需給見通し

概要（200字以内）

総合資源エネルギー調査会は、今後のエネルギー政策の一環として「長期エネルギー需給見通し」の見直しを行い、平成13年6月28日の総合部会・需給部会で報告書を出したが、エネルギー政策の基本目標の実現は非常に困難である。消費面では、民生部門など引き続きエネルギー需要が増加することが見込まれ、供給面では原子力など非化石エネルギーの導入が進まず、安価な石炭燃料（CO2を排出）が大幅に増加することが予想されている。

現状と最前線

わが国の長期エネルギー需給見通しは以下の様になっている。



(注) 四捨五入等のため合計は100%にならないことがある
 [基準ケース] 現在の政策枠組みを維持した場合の2010年度におけるエネルギー需給の姿
 [目標ケース] 「環境保全や効率化の要請に対応しつつ、エネルギーの安定供給を実現する」という基本目標を実現するエネルギー需給像
 出典：原子力関係資料(平成15年8月)

図1 長期エネルギー需給見通し

提供：(財) 日本原子力文化振興財団：「原子力」図面集-2003-2004年版- (2003.12)

2010年度のエネルギー起源のCO2排出量は、目標とする90年度の水準まで低減せず、約2,000万トン-C増えると試算されています（基準ケース）。この様に「環境保全や効率化の要請に対応しつつ、エネルギーの安定供給を実現する」というエネルギー政策の基本目標の実現は非常に困難であり、その解決に向けて努力がなされている。

表1 長期エネルギー需給見通し概要

○最終エネルギー消費の推移と見通し

(原油換算百万kl)

年度	1990年度		1999年度		2010年度			
		構成比%		構成比%	基準ケース		目標ケース	
項目		構成比%		構成比%		構成比%		構成比%
産業	183	52.5	197	49.0	187	45.8	185程度	46程度
民生	85	24.4		26.1	126	30.8	120程度	30程度
家庭	46	13.3	55	13.8	60	14.7	58程度	14程度
業務	39	11.2	50	12.3	66	16.1	63程度	16程度
運輸	80	23.0	100	24.9	96	23.4	94程度	24程度
乗用車	39	11.0	53	13.2	51	12.5	50程度	12程度
貨物等	42	12.0	47	11.7	45	10.9	45程度	11程度
合計	349	100	402	100	409	100	400程度	100

将来予測と方向性

- ・ 5年後までに解決・実現が望まれる課題
炭酸ガス排出抑制。
- ・ 10年後までに解決・実現が望まれる課題
エネルギー需給の長期展望の作成

キーワード

エネルギー需給、炭酸ガス排出抑制

(執筆者：瀬川浩司)